

第1回 小杉駅周辺地区新設小学校通学区域等検討会議 会議録

【日時】平成28年10月24日（月）18時30分～20時15分

【場所】中原区役所5階 503会議室

【出席者】

<委員>

奥村委員、石井委員、宮川委員、鈴木委員、若生委員、野村委員、伊藤委員、尾木委員、五十嵐委員、田添委員

<オブザーバー>

伊藤校長（西丸子小）、岩間校長（上丸子小）、森岡校長（今井小）、伊藤校長（中原小）、里館担当係長（市まちづくり局）

※欠席：伊藤校長（中原中）、川崎校長（今井中）、本間校長（宮内中）

<教育委員会>

古内課長、能塚担当係長（企画課）鈴木課長（健康教育課）、佐藤担当課長（学校教育部）

※欠席：濱田担当課長（健康教育課）

<事務局（教育環境整備推進室）>

渡辺担当課長、小竹担当係長、本波主任

【傍聴人】1名

【議事内容】

1 学校名の決定に関する考え方について【公開】

事務局から資料2に基づき説明

<質疑応答>

委員

応募用紙の配布方法は。

事務局

学校を通じて保護者に配布、市ホームページ、市政だより掲載等多様な方法で周知を行う。

2 新設小学校通学区域等の検討について【公開】

事務局から資料3に基づき説明

<各委員意見>

委員

学区については、町内会を分断しないというのが基本ではないか。他の委員の意見も参考にしたい。

事務局

町内会を分断しないということについては、新設小学校の学区を検討する上での検討材料のひとつとさせていただいている。通学路の安全性についても配慮していきたい。

委員

高層マンションは独自に自治会組織を整備するため、高層マンション単位での検討も必要ではないか。今井小学校の児童数増加への対応が最優先課題であるということは理解した。今井小学校の児童数増加への対応策を検討した方がよいのではないか。

事務局

新設小学校の学区を検討するに当たり、既存小学校の適正規模・適正配置について配慮すべきであると認識している。御意見は今後の参考とさせていただきたい。

委員

最優先課題は、既存小学校の適正規模、適正配置である。新設小学校の完成により、既存小学校の過密化を解消できるということは大切である。ただし、町内会を分断してしまうことについても配慮してほしい。

また、中学校の変更を伴うのであれば、通学距離の問題等課題が出てくると思う。中学校の通学路について配慮してほしい。

委員

新設小学校周辺の既存小学校の過密化については、解決すべき課題である。新設小学校が建設されなかったと仮定して、今井小学校、上丸子小学校の平成35年度以降の学級数の見込みを教えてください。

事務局

平成35年度以降の学級数は次のとおり。

今井小：31（H35）、31（H36）、33（H37）

上丸子小：28（H35）、26（H36）、25（H37）

中原小：24（H35）、23（H36）、25（H37）

西丸子小：28（H35）、30（H36）、32（H37）

委員

どの案を採用するにしても、何が優先課題であるかを明確にしてほしい。高層マンションによる児童数増加は5～6年後にピークが来ると予測しているのであれば、将来的にはこの学校の児童数はかなり減っているのではないか。将来的な児童数の減少も踏まえ、通学区域を検討すべきである。

事務局

新設小学校建築の目的は、小杉駅周辺の児童数増加に対応することである。この学校は、事業用定期借地権という土地に建築し、30年間運営する計画である。本会議において御意見をいただきながら、最優先課題を明確化し、通学区域を決定していきたい。

委員

小杉駅周辺のまちづくりを視野に入れた通学区域の検討が必要である。武蔵小杉駅へ向かう通勤・通学者の動線に配慮し、児童の安全を確保できる案を採用すべきである。

事務局

今後も、武蔵小杉駅周辺の開発状況を踏まえながら検討を進めていきたい。

委員

町内会を分断しないという意見は理解できる。今後の武蔵小杉駅周辺の人口増加を踏まえ、児童の安全性の確保を最優先課題としてほしい。

事務局

駅への通勤者の増加なども含め、児童の安全性を確保できるよう通学区域を検討していきたい。

委員

新設小学校の通学区域検討後、周辺の既存小学校の通学区域の見直しは行わないのか。周辺の既存小学校の通学区域再編を併せて検討していく必要があるのではないか。

事務局

本会議において、抜本的な通学区域の見直しが必要であると再確認した。次回までにそうした点についても議論できるよう準備を進めていきたい。

委員

町内会を分断するようなものは避けてほしい。学校は自主防災の拠点となっており、小学校区単位で活動している実態が多く見受けられる。通学区域の変更により、自主防災組織の再編も必要ではないか。

事務局

新設小学校も地域の避難所として機能するため、避難所の指定については、関係部署とも協議を進めているところである。

委員

地域性を考慮し、自由に小学校を選択できる環境を整備してもよいのではないか。

事務局

現在の通学区域についても、地域の方々からの御意見を踏まえ、変遷を重ねてきたものである。様々な意見を参考に検討を重ねていきたい。

委員

町内会を分断して、通学区域を整備することは避けていただきたい。児童や通学の安全性などの課題も認識している。

事務局

いただいた御意見は、参考とさせていただきます。

委 員

高層マンションだけを他の通学区域に変更することについては、マンションや町内会の活動に影響を与えることもあるため、考慮してほしい。

事務局

通学区域と避難所区域が一致しない場合もある。新設小学校の避難所については、管轄部署と協議を進めていきたい。

委 員

高層マンションの住民の意見はどのようにして集約するのか。

事務局

本日の会議の状況などを高層マンションの管理組合にも情報提供していく。情報は共有化していく。

委 員

学校は自主防災の拠点である。防災については、優先すべき事項であることを認識してほしい。